

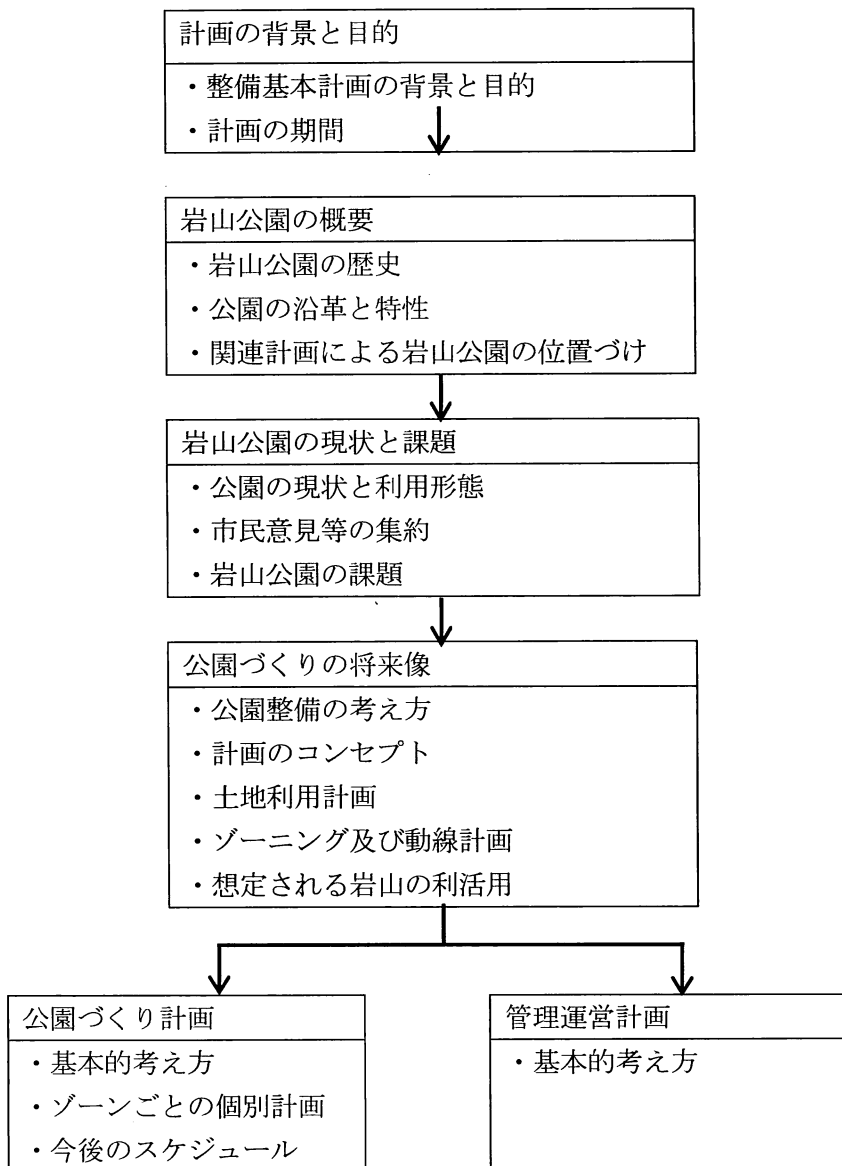
岩山公園整備基本計画（案）について

平成 24 年 12 月 13 日
都 市 整 備 部

1 岩山公園整備基本計画の目的

岩山公園は、盛岡駅から車で15分程の小高い丘陵地（標高約340.5 m）にあり、都市公園として昭和45年(1970年)に開設した。盛岡の市街地や周囲の山並みを一望でき、緑に親しめる身近なレクリエーションの場として広く市民に利用されている。岩山公園は多くの市民等に親しまれてきたが、近年は維持管理や施設の老朽化に伴う市民からの要望等が寄せられるなど、多くの課題を抱えている。そこで、岩山公園の更なる魅力アップと観光リクリエーション施設としての利活用を図るため、岩山公園整備基本計画を策定し、これに基づき公園の整備を進め、より多くの市民や観光客が楽しむことができる公園の再整備を図る。

2 整備基本計画（案）の構成



3 今後のスケジュール

12月13日 市議会全員協議会

12月下旬 関係課意見照会

1月中旬 パブリックコメント実施

2月中旬 第3回岩山公園整備基本計画策定懇話会

3月 岩山公園整備基本計画策定

岩山公園整備基本計画（案）

【概要版】

平成24年12月

盛岡市

岩山公園整備基本計画（案）【概要版】

- 目 次 -

第1章	計画の背景と目的.....	1
1-1	整備基本計画の背景と目的.....	1
1-2	計画の期間.....	1
第2章	岩山公園の沿革と特性.....	2
2-1	岩山公園の歴史と沿革.....	2
2-2	岩山公園の特性.....	3
第3章	岩山公園の現状と課題.....	4
3-1	岩山公園の現状と利用形態.....	4
3-2	岩山公園の課題.....	4
第4章	公園づくりの将来像.....	6
4-1	公園整備の考え方.....	6
4-2	計画のコンセプト.....	7
4-3	各ゾーンの基本的な方向性（ゾーニング）.....	7
第5章	公園づくり計画.....	8
5-1	基本的考え方.....	8

第1章 計画の背景と目的

1-1 整備基本計画の背景と目的

岩山公園は、盛岡駅から車で15分程の小高い丘陵地（標高約340.5m）にあり、都市公園として昭和45年（1970年）に開設した。盛岡の市街地や周囲の山並みを一望でき、緑に親しめる身近なレクリエーションの場として広く市民に利用されている。また、展望台からの夜景は「日本夜景遺産」や「夜景100選」に選定され、全国的にも有名な夜景スポットとして親しまれている。

岩山公園は多くの市民等に親しまれてきたが、近年は維持管理や施設の老朽化に伴う市民からの要望等が寄せられるなど、多くの課題を抱えている。そこで、岩山公園の更なる魅力アップと観光レクリエーション施設としての利活用を図るため、岩山公園整備基本計画を策定し、これに基づき公園の整備を進め、より多くの市民や観光客が楽しむことができる公園の再整備を図る。

1-2 計画の期間

本計画の期間は10年間とする。なお、本計画の終了前にその時の社会経済情勢と整備事業の進捗状況等を踏まえて、計画の見直しを行うものとする。

第2章 岩山公園の沿革と特性

2-1 岩山公園の歴史と沿革

岩山は江戸時代から昭和30年頃まで岩山一帯は草刈り場、一部は薪を取るための雑木林だったが、農耕馬を使わなくなって草刈り場は不要となり、薪の需要も無くなったことから、山には植林が始まり森林の面積が増えた。

年度	沿革
昭和37年度	鹿島精一記念展望台完成（鹿島建設㈱寄贈）
昭和39年度	岩山公園として都市計画決定（51.68ha）
昭和44年度	市と新庄林野組合と土地使用契約の締結 都市計画事業認可（28.78ha）
昭和45年度	開設告示（26.60ha）
昭和47年度	平和観光開発㈱による事業認可（岩山パークランド）
昭和48年度	岩山レストハウスの設置許可（㈱盛岡観光開発公社）
昭和54年度	都市計画変更決定（第1回）（公園種別の変更）
昭和56年度	都市計画変更決定（第2回）（59.1ha）
平成9年度	「啄木詩の道」完成
平成16年度	「夜景100選」に選定される
平成21年度	NPO法人桃源郷づくり岩手県民運動と岩山公園環境整備に係る覚書を締結
平成23年度	再整備に伴い都市計画事業認可（26.60ha）

2-2 岩山公園の特性

岩山公園の自然的特性と社会的特性は以下の通りです。

計画地特性一覧

自然的特性	気象	<p>奥羽山脈沿いの地方が冬季の季節風の影響を強く受けており、それに伴い雪も多い。また、内陸部は盆地的な気候で、1日の気温の変動幅が大きく、特に冬季の冷え込みが顕著である。</p> <p>なお、盛岡市のデータは下記のとおりであるが、岩山は観測地より標高が高いことから、冷え込みがより厳しくなっている。</p> <p>【年平均値（1981年～2010年）、盛岡气象台】 年平均気温 10.2℃ 年降水量 1,266.0mm</p>
	地勢	標高約340.5mの岩山を中心とする低山丘陵地となっている。
	地質	白亜紀花崗岩類を基盤とし、その上に粘板岩、輝緑凝灰岩等が分布した後隆起した。
	景観	市街地から近く、遠くの山並みや市街を一望できる。
	動植物	絶滅危惧種を含む多くの草原性植物が自生している。サクラや広葉樹による紅葉は見事であり、これを目的とする観光客も多い。 また、野鳥も多く近隣の中学校では巣箱を設置している。
社会的特性	位置	盛岡駅から東に約5km（車で15分程度）
	交通・アクセス	国道4号「岩山入口」交差点から市道岩山2号線によりアクセスする。 路線バスのほか、定期観光バスがある。
	周辺施設	岩山パークランド 岩山パークスキー場 盛岡カントリークラブ 盛岡市動物公園

第3章 岩山公園の現状と課題

3-1 岩山公園の現状と利用形態

現在の岩山の利用者は、山頂の2つの展望台からの眺望を楽しむ人が大半だが、健康のために“登山”をする人、自然観察(山野草、野鳥)や散策をする人、小学生の遠足、中学生による巣箱をとりつける活動などがある。また、園内に記念樹を植栽する団体等もある。

近年は3つの民間団体が岩山公園内で次のような活動を行っています。

- ① ハナモモを中心とした花木園づくり。
- ② 山野草の観察と保護活動。
- ③ ヤマユリを守り増やす活動。

盛岡市は現在、最低限の草刈りや施設管理を行っているに過ぎず、近年は整備事業も行っていないことから、民間団体による活動が大きなウエイトを占めている。

3-2 岩山公園の課題

岩山公園のもつ資源やその評価と課題については、以下のようにまとめられる。

●山頂からの眺望および景観

“眺望が素晴らしさ”は岩山公園を代表する資源である。市街地や周辺の山並みを一望できる素晴らしい眺望の場所が市街地から近く、市民や観光客が容易に訪れることが可能である。なお、周辺の樹木が大きくなり過ぎたことにより「360°の眺望」を阻害している状況となっている。

●街中から見る岩山

街中から岩山を望むと、かつては展望台がUFOのように見え、シンボリックに岩山を望見できたが、近年は樹木等の成長により、展望台が見えにくくなっている。

●地形

公園の裾野は比較的緩傾斜地、中腹から山頂までは急傾斜、山頂付近は平坦地と、地形の変化に富んでおり、いろいろな利用の可能性を有しているが、急傾斜区域の散策路は歩きにくく、利用しにくい状態である。

●植生

近年存在が珍しくなった自然草地在市街地近郊にあり、かつ豊富な種類の自然植物や動物が多くみられる点は全国的に見ても数少なく、岩山公園のもつ重要な資源の一つとなっている。一方、自然草地は維持管理を適切に行わないと単なる「ヤブ」となり、景観的に単調で面白味がなくなる。また、サクラも近年弱ってきている。森林の区域は針葉樹が多く、ヤブ化により中に入り込めず、レクリエーション的利用が難しい状況である。自生する貴重な山野草については、学術的価値の評価も検討する必要がある。植物に関して、ガイドの配置や銘板の設置との意見もあるが、このことにより、貴重な山野草が盗掘される可能性がある。

●施設

展望施設（鹿島展望台、レストハウス展望台）が整備されており、利用者も多い状況となっている。ただし、柵や双眼鏡が老朽化・破損しており、利用できないものが多く、施設自体のデザインも単調であることから、魅力あるデザインとすることが望まれる。レストランなどの魅力をアップさせることも必要である。散策路のベンチやテーブルは破損しており、その更新に併せて新しいデザインとすることが望ましい。また、休憩施設、四阿やベンチ及びサインの増設が望まれているものである。啄木詩の道は修景的にメリハリをつけると、より魅力的になると考えられる。

●歴史

かつては草刈り場、その後はスキー場などの遊びの場として生活に密接に関係していたが、生活スタイルの変化などに伴い現在は造林地となってしまう、生活との関連性が薄くなっている。

●その他

各民間団体の活動エリアについては、それぞれが個々に活動し整合の取れていない状況も見られることから、調整することも必要である。また、岩山に至る道路に歩道がなく、車道が狭いこと及び路線バスの本数を増やすといった、街中からのアクセスについても改善が望まれる。

第4章 公園づくりの将来像

4-1 公園整備の考え方

岩山公園は市街地に近く、豊富な自然環境の中に設けられた公園として、40年以上に渡って市民に親しまれ、盛岡市の1つのシンボリックな存在となっている。その利用形態としては、

山頂からの眺望を楽しむ

自然環境を楽しむ

- ①自然草地の山野草の観察、野鳥観察
- ②花木園（NPO 法人桃源郷づくり岩手県民運動）、サクラ並木の花見
- ③健康登山
- ④芝生広場でのピクニック
- ⑤その他

と大別して2つのタイプに分けられる。近年は眺望の利用が圧倒的に多く、自然環境を楽しむ利用は少数となっている。その原因として、岩山公園の利用しやすい緩傾斜地のほとんどが、駐車場、遊園地、ゴルフ場などとして使われており、その他の区域の大半は急傾斜地で立入困難な森林となっており、活用できる範囲が少ないためである。

さらに、レストハウスの展望台から直下に見おろす草地区域は一部に芝生があるものの、人の背丈を超える多年草に広く覆われ、入り込むことも容易でなく、その中にわずかな散策路があるだけという状態である。

一方、展望台からの眺望も、東側は大きく伸びた森林に遮られてしまい、「以前の360°の眺望を取り戻してほしい」という要望が市民から寄せられている。

岩山公園は大きな施設が少なく、ほとんどの区域が自然の草地や森林に覆われているという癒しの空間となっている。市街地の近接地にこのようなレクリエーションスペースがあるのは恵まれた環境であることから、この条件を活用し、これまで利用者が少なかった原因を改め、より多くの市民や来訪者に楽しんでもらえるよう風致公園ということを踏まえた上で、次のような方針で岩山公園の再整備を行うものとする。

4-2 計画のコンセプト

岩山公園の現状の利用形態を活かしながら、下記のコンセプトに基づきながら岩山公園の利用促進に取り組んでいくものとする。

「盛岡のシンボル・岩山の魅力再発見」(案)

4-3 各ゾーンの基本的な方向性 (ゾーニング)

公園整備の考え方と全体の土地利用計画を踏まえて、5種類のゾーニングを計画する。

ゾーニング

■ 森林保全ゾーン

森林が多い区域であり、野鳥の生息箇所ともなっている。また麓からの登山路もあるが森林に埋もれている状態である。したがって、野鳥の良好な生息環境の確保、良好な登山路環境の保持および良好な森林環境の確保を目的とし、森林の適正な保全に努める。

■ 草地保護ゾーン

絶滅危惧種を含む多くの山野草が自生する区域であることから、適切な維持管理を実施し、山野草の生育環境の保護に努める。

■ 山頂ゾーン

人が多く集う岩山公園の中心区域であることから、景観の確保の重点区域である。また、交流や情報発信の場としても活用を行う。

■ レクリエーションゾーン

市街地に近い自然草地という岩山公園の特色を活用し、多くの人が自然と触れ合うために集える草地空間として整備し、自由な利用を促進する。

■ 花木園ゾーン

サクラ並木やハナモモなど「手が加わった自然」が多い区域であり、花や実などが美しい樹木等を補植しながら一年を通して楽しめる花木園として活用する。

第5章 公園づくり計画

5-1 基本的考え方

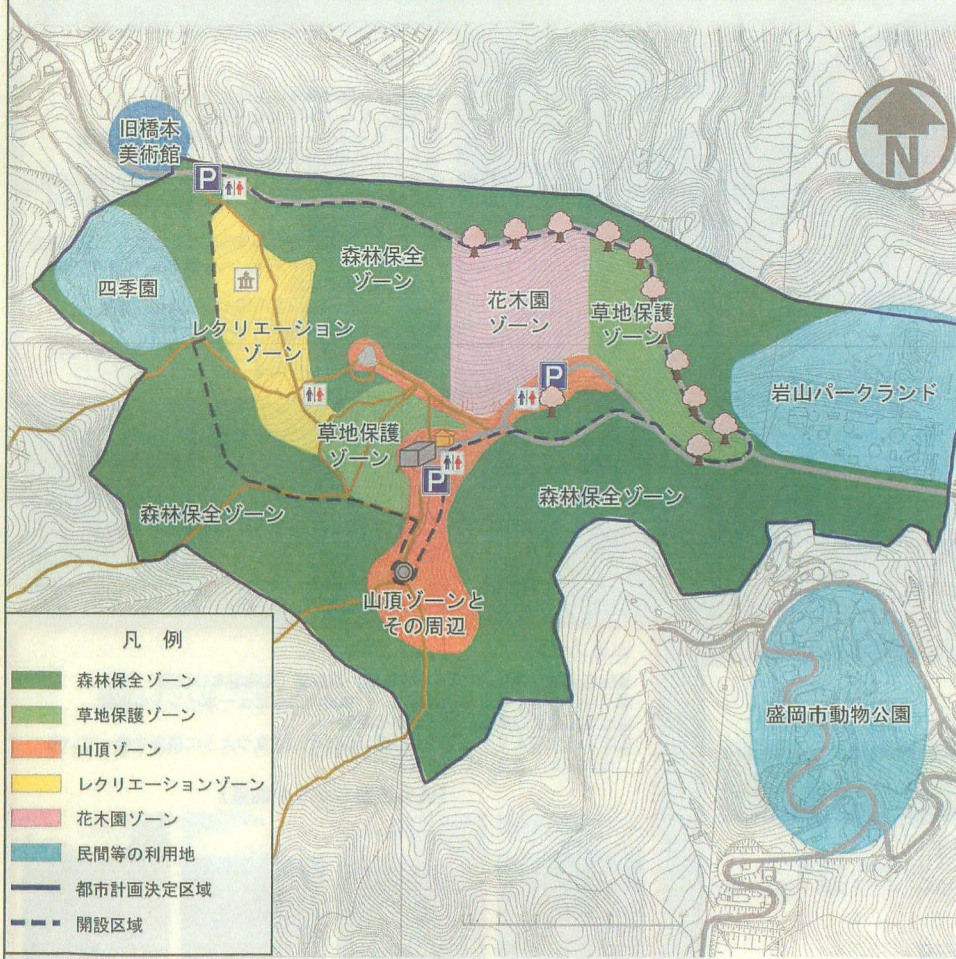
計画地は、自然豊かな風致公園であるため、その自然景観は出来るだけ維持することが望ましいと考える。しかし、眺望確保のための伐採や危険な箇所がある散策路の整備、必要最小限のサイン施設等の整備は必要である。したがって、ハード施策については、現在の景観やテーマに配慮しながら、希少な植物等を保全するための整備、来訪者の安全を確保するための整備を進めていくこととする。

一方、ソフト施策については、希少な動植物を大切にすることを育てる啓発活動や、自然と親しめるイベントの開催、市民協働による維持管理など、周辺施設と連携しながら、岩山公園を有効に活用できる内容のものとしていくこととする。

岩山公園整備基本計画の概要

【整備の目的】

岩山公園は多くの市民等に親しまれてきたが、近年は維持管理や施設の老朽化に伴う市民からの要望等が寄せられるなど多くの課題を抱えていることから、「岩山公園整備基本計画」を策定し、岩山公園の更なる魅力アップと観光リクリエーション施設としての利活用を図る。



計画対象範囲とゾーニング

0 50 100 200 300m

コンセプト	盛岡のシンボル・岩山の魅力再発見 (案)
森林保全ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 下木や下草を刈払い、見通しの良い森林をつくるなど、景観と雰囲気向上 ■ ヤブ状の草地は刈払い丈の低い草地として整備
草地保護ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 希少種の植物学的価値の判定 ■ 適切な管理方法(草刈回数や時期)の設定 ■ ヤブ状の草地は刈払い、丈の低い草地として整備 ■ 自然草地の範囲の確定 ■ 多くの人が利用できるための散策路の整備 ■ 自然観察会などのイベントの検討
山頂ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鹿島展望台からの「360°の眺望」の回復(支障樹木の伐採・剪定) ■ 「岩山の岩」からの眺望確保 ■ 姫神山のビューポイントの創設 ■ 鹿島展望台の東側に芝生広場の新設 ■ 啄木詩の道より、大木や形の良い樹木が浮き立つように視界を遮っている他の樹木、低木、ヤブを伐採
レクリエーションゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ■ レクリエーション的利用空間の拡大・整備 ■ レクリエーション施設の一部であるテーブル・ベンチや散策路について地形を活用した斬新なデザインの創案 ■ 子供が楽しむことができる池(水面)の設置 ■ 芝生とキャンプ場のある谷の殆どを芝生状の草地(丈の低い草地)に変更ただし、一部を営場(ススキ原)として残すことも検討 ■ 散策路沿いの景観改善
花木園ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関係者の活動を尊重しながら、そのデザインや管理手法の検討 ■ 利用しやすい散策路の設置 ■ 花木園内のデザイン(樹種と配置)の改良
全域で取組む整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公園の変化に富んだ地形をそれぞれに合った利用法の検討 ■ 管理計画を策定および適切な管理運営 ■ 既存の登山路は埋もれてしまい広い眺望が遮られているため、採光およびビューポイント確保のため樹木の伐開 ■ 花や実、姿の美しい樹木の補植 ■ 枯木の伐採 ■ 桜並木やツツジ群落など、埋もれているものの復活 ■ 新たなデザインの建物(四阿、デッキ、トイレ、ベンチなど)の配置 ■ 既存の散策路で、勾配が急な箇所や滑りそうな箇所の、ルート変更や舗装の検討 ■ 新しい散策路の設置の検討 ■ 散策路からの景観の確保 ■ 体力に応じた複数の散策路(距離や勾配など)の整備 ■ 各目的(案内、誘導、記名、注意・禁止)に応じたサインの配置 ■ 公園管理用の道具置場の設置・検討
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 街中から鹿島展望台が見えるよう、支障となる樹木の伐採や剪定 ■ アクセス道路の狭い箇所及び急カーブの改善 ■ アクセス道路の歩道整備 ■ アクセス道路を明るくするための沿道の樹木の間伐 ■ 旧橋本美術館を活用し、情報発信と交流のための施設整備の検討 ■ 周辺の歴史的遺跡や風景の美しいところと登山路を結んだトレッキングロードの設置及びそのための駐車場設置の検討 ■ 岩山公園と他施設を接続する散策路の検討 ■ 岩山周辺地域の連携や歴史への配慮 ■ 利用者が岩山で「学ぶ・歩く・食べる」楽しみを享受できるための配慮

岩山公園整備基本計画図

盛岡のシンボル・岩山の魅力再発見（案）



草地保護ゾーン

- 希少種の植物学的価値の判定
- 適切な管理方法（草刈回数や時期）の設定
- ヤブ状の草地は刈払い、丈の低い草地として整備
- 自然草地の範囲の確定
- 多くの人が利用できるための散策路の整備
- 自然観察会などのイベントの検討



花木園ゾーン

- 関係者の活動を尊重しながら、そのデザインや管理手法の検討
- 利用しやすい散策路の設置
- 花木園内のデザイン（樹種と配置）の改良

森林保全ゾーン

- 森林の樹木はできるだけ残し下木や下草を刈払って、見通しの良い森林をつくる
- ヤブ状の草地は刈払いを行い、丈の低い草地とする。

【下草の刈払い】



【ヤブの解消】



レクリエーションゾーン

- レクリエーション的利用空間の拡大・整備
- レクリエーション施設の一部であるテーブル・ベンチや散策路について地形を活用した斬新なデザインの創案
- 子供が楽しむことができる池（水面）の設置
- 芝生とキャンプ場のある谷の殆どを芝生状の草地（丈の低い草地）に変更ただし、一部を置場（ススキ原）として残すことも検討
- 散策路路沿いの景観改善

【利用空間拡大のイメージ】



公園全域

- 既存の登山路は埋もれてしまい広い眺望が遮られているため、採光およびビューポイント確保のため樹木の伐採



- 花や実、姿の美しい樹木の補植
- 枯木の伐採
- 桜並木やツツジ群落など、埋もれているものの復活
- 新たなデザインの建物（四阿、デッキ、トイレ、ベンチなど）の配置
- 既存の散策路で、勾配が急な箇所や滑りそうな箇所の、ルート変更や舗装の検討
- 新しい散策路の設置の検討
- 散策路からの景観の確保
- 体力に応じた複数の散策路（距離や勾配など）の整備
- 各目的（案内、誘導、記名、注意・禁止）に応じたサインの配置
- 公園管理用の道具置場の設置・検討

山頂ゾーン

- 鹿島展望台からの「360°の眺望」の回復（支障樹木の伐採・剪定）
- 「岩山の岩」からの眺望確保
- 姫神山のビューポイントの創設
- 鹿島展望台の東側に芝生広場の新設
- 啄木詩の道より、大木や形の良い樹木が浮き立つように視界を遮っている他の樹木、低木、ヤブを伐採

【鹿島展望台からの眺望】



その他

- 街中から鹿島展望台が見えるよう、支障となる樹木の伐採や剪定
- アクセス道路の狭い箇所及び急カーブの改善
- アクセス道路の歩道整備
- アクセス道路を明るくするための沿道の樹木の間伐
- 旧橋本美術館を活用し、情報発信と交流のための施設整備の検討
- 周辺の歴史的遺跡や風景の美しいところと登山路を結んだトレッキングロードの設置及びそのための駐車場設置の検討
- 岩山公園と他施設を接続する散策路の検討
- 岩山周辺地域の連携や歴史への配慮
- 利用者が岩山で「学ぶ・歩く・食べる」を楽しむことができるための配慮

岩山公園整備基本計画（案）

平成24年12月

盛岡市

岩山公園整備基本計画（案）

- 目 次 -

第1章	計画の背景と目的.....	1
1-1	整備基本計画の背景と目的.....	1
1-2	計画の期間.....	1
第2章	岩山公園の概要.....	2
2-1	岩山公園の歴史.....	2
2-2	岩山公園の沿革と特性.....	2
(1)	公園の概要.....	2
(2)	公園の沿革.....	3
(3)	公園の特性.....	4
2-3	関連計画による岩山公園の位置づけ.....	5
第3章	岩山公園の現状と課題.....	6
3-1	岩山公園の現状と利用形態.....	6
3-2	市民意見等の集約.....	7
(1)	ワークショップ.....	7
(2)	アンケート調査.....	8
3-3	岩山公園の課題.....	10
第4章	公園づくりの将来像.....	12
4-1	公園整備の考え方.....	12
4-2	計画のコンセプト.....	13
4-3	土地利用計画.....	13
4-4	各ゾーンの基本的な方向性（ゾーニング）及び動線計画.....	14
4-5	想定される岩山の利活用.....	15
第5章	公園づくり計画.....	16
5-1	基本的考え方.....	16
5-2	ゾーンごとの個別計画.....	17
(1)	森林保全ゾーン.....	17
(2)	草地保護ゾーン.....	17
(3)	山頂ゾーン.....	17
(4)	レクリエーションゾーン.....	17
(5)	花木園ゾーン.....	18
(6)	全域.....	18
(7)	その他.....	18
5-3	今後のスケジュール.....	19
第6章	管理運営計画.....	20
6-1	基本的考え方.....	20

第1章 計画の背景と目的

1-1 整備基本計画の背景と目的

岩山公園は、盛岡駅から車で15分程の小高い丘陵地（標高約340.5m）にあり、都市公園として昭和45年（1970年）に開設した。盛岡の市街地や周囲の山並みを一望でき、緑に親しめる身近なレクリエーションの場として広く市民に利用されている。また、展望台からの夜景は「日本夜景遺産」や「夜景100選」に選定され、全国的にも有名な夜景スポットとして親しまれている。

岩山公園は多くの市民等に親しまれてきたが、近年は維持管理や施設の老朽化に伴う市民からの要望等が寄せられるなど、多くの課題を抱えている。そこで、岩山公園の更なる魅力アップと観光レクリエーション施設としての利活用を図るため、岩山公園整備基本計画を策定し、これに基づき公園の整備を進め、より多くの市民や観光客が楽しむことができる公園の再整備を図る。

1-2 計画の期間

本計画の期間は10年間とする。なお、本計画の終了前にその時の社会経済情勢と整備事業の進捗状況等を踏まえて、計画の見直しを行うものとする。

第2章 岩山公園の概要

2-1 岩山公園の歴史

岩山一帯は、江戸時代は新庄村に所属し、明治22年に浅岸村新庄となり、昭和16年に盛岡市と合併した。岩山は江戸時代においては南部藩の所有地で、新庄村に草刈り場として貸し与えられていたが、明治維新の後に地元へ払い下げられた。そこで地元では組合を作って共同で管理、利用してきたが、昭和48年に「新庄林野株」を設立した。株は明治の時から共同で管理してきた40名(40家族)が所有し、現在は36名の株主が350町歩(347ha)の土地を所有している。江戸時代から昭和30年頃まで岩山一帯は草刈り場、一部は薪を取るための雑木林だったが、農耕馬を使わなくなって草刈り場は不要となり、薪の需要も無くなったことから、山には植林が始まり森林の面積が増えた。また、ゴルフ場や遊園地に土地を貸すことも始めた。

岩山公園は昭和45年に26.60haを開設しているが、そのうち約70%が新庄林野株の所有であり、残りは個人と盛岡市東中野財産区の所有となっている。なお、盛岡市所有もわずかながら存在している。

2-2 岩山公園の沿革と特性

(1) 公園の概要

名 称	7・6・2 岩山公園
公 園 種 別	特殊(風致)公園
所 在 地	盛岡市新庄字岩山50番6 外
都市計画決定	昭和39年 7月13日 51.68ha
開 設 告 示	昭和45年12月28日 26.60ha
公 園 施 設	展望台, 駐車場, トイレ 等

(3) 公園の特性

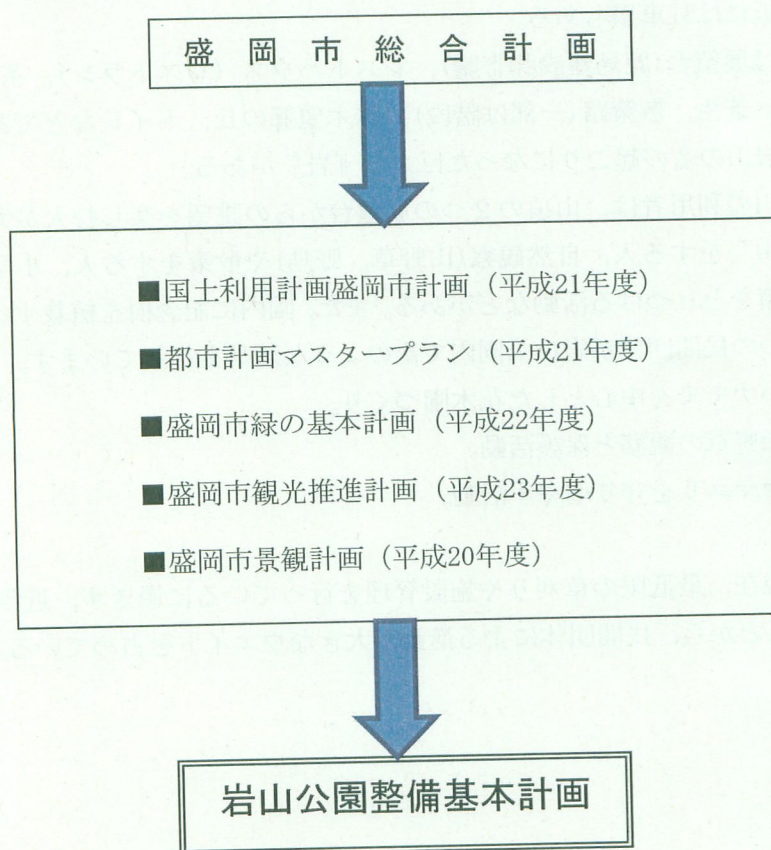
岩山公園の自然的特性と社会的特性は以下の通りである。

計画地特性一覧

自然的特性	気象	<p>奥羽山脈沿いの地方が冬季の季節風の影響を強く受けており、それに伴い雪も多い。また、内陸部は盆地的な気候で、1日の気温の変動幅が大きく、特に冬季の冷え込みが顕著である。</p> <p>なお、盛岡市のデータは下記のとおりであるが、岩山は観測地より標高が高いことから、冷え込みがより厳しくなっている。</p> <p>【年平均値（1981年～2010年）、盛岡气象台】 年平均気温 10.2℃ 年降水量 1,266.0mm</p>
	地勢	標高約340.5mの岩山を中心とする低山丘陵地となっている。
	地質	白亜紀花崗岩類を基盤とし、その上に粘板岩、輝緑凝灰岩等が分布した後隆起した。
	景観	市街地から近く、遠くの山並みや市街を一望できる。
	動植物	絶滅危惧種を含む多くの草原性植物が自生している。サクラや広葉樹による紅葉は見事であり、これを目的とする観光客も多い。また、野鳥も多く近隣の中学校では巣箱を設置している。
社会的特性	位置	盛岡駅から東に約5km（車で15分程度）
	交通・アクセス	国道4号「岩山入口」交差点から市道岩山2号線によりアクセスする。路線バスのほか、定期観光バスがある。
	周辺施設	<p>岩山パークランド</p> <p>岩山パークスキー場</p> <p>盛岡カントリークラブ</p> <p>盛岡市動物公園</p>

2-3 関連計画による岩山公園の位置づけ

■計画の位置づけ（体系の概念）



※市の最上位計画である「盛岡市総合計画」を始め、各種関連計画に即して本計画を策定する。

第3章 岩山公園の現状と課題

3-1 岩山公園の現状と利用形態

岩山公園は「風致公園」として都市計画決定されている。山頂まで車道が整備されており、頂上付近には駐車場もある。

主な施設は展望台(鹿島建設(株)寄贈)、レストハウス(レストラン)、茶屋、啄木詩の道、キャンプ場、芝生、散策路(一部は階段)、啄木望郷の丘、トイレなどである。また施設ではないが、岩山の名の起こりになった巨大な『岩』がある。

現在の岩山の利用者は、山頂の2つの展望台からの眺望を楽しむ人が大半だが、健康のために“登山”をする人、自然観察(山野草、野鳥)や散策をする人、小学生の遠足、中学生による巣箱をとりつける活動などがある。また、園内に記念樹を植栽する団体等もある。

近年は3つの民間団体が岩山公園内で次のような活動を行っています。

- ① ハナモモを中心とした花木園づくり。
- ② 山野草の観察と保護活動。
- ③ ヤマユリを守り増やす活動。

盛岡市は現在、最低限の草刈りや施設管理を行っているに過ぎず、近年は整備事業も行っていないことから、民間団体による活動が大きなウエイトを占めている。

3-2 市民意見等の集約

岩山公園整備に関して、様々なアイデアやご意見を広く頂くため、以下の機会を設け、本計画の策定に反映させていく。

- 岩山公園整備基本計画に係るワークショップ
- 岩山公園の利活用促進に関するアンケート調査
- 岩山公園整備基本計画策定懇話会
- 岩山公園整備基本計画（案）に関するパブリックコメント

(1) ワークショップ

<第1回ワークショップ>

目 標：岩山公園の現状認識・共有認識の醸成，整備の方向性の確認

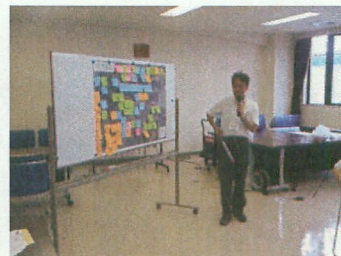
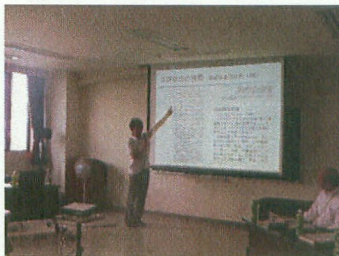
日 時：平成24年8月29日 13：30～16：00

場 所：盛岡市勤労福祉会館 401・402会議室

参加者：28名（3グループ）

テーマ：●山本清龍岩手大学農学部准教授による講話

- 岩山公園の「使われ方」，「良いところ」，「悪いところ」，
「こうしていきたいところ」について



<第2回ワークショップ>

目 標：岩山公園の整備の方針の提案

日 時：平成24年9月13日 14：00～16：00

場 所：盛岡市勤労福祉会館 大ホール

参加者：27名（3グループ）

テーマ：●第1回ワークショップで挙げられた「こうしていきたい点」について



(2) アンケート調査

岩山公園整備に対する多くのアイデアやご意見を頂くために、アンケート調査を以下のように実施した。

アンケート調査実施概要

対象者※	定住者	来訪者	転出者	その他
調査方法	郵送配布 郵送回収	直接面談法	直接配布 郵送回収	直接配布 郵送回収
調査時期	H24.11.2 より 配布開始	H24.9.22	H24.9.29 配布	H24年8月29 日配布
配布数	1,000 通	200 通	30 通	19 通
回収数 (H24.11.22 時点)	149 通	199 通	13 通	8 通
回収率	14.9%	99.5%	43.3%	42.1%

対象者の定義は以下の通りである。

定住者：岩山公園周辺に住んでいる方々

来訪者：岩山公園及び盛岡市動物公園を訪れた方々

転出者：かつては盛岡に住んでいて、現在は他の地域にお住まいの方々

その他：第1回ワークショップにご参加いただいた方々

アンケート調査結果の概要

【岩山公園の“魅力”は何ですか？】

- 市内を一望できる（季節感を含んだ）景観
- 市外からの来訪者を案内するのに最適な場所
- 気軽に散歩感覚で登れる（健康増進）、市街地に近い
- 豊富な自然、動植物が多い、貴重種を含む山野草が多い
- 静かで空気がきれい

【岩山公園を訪れて“がっかりしたこと”はなんですか？】

- 心無い人のいたずら、ゴミの散乱、展望台の柵の錆
- 魅力が少ない（自然だけしかない）
- 施設の老朽化
- 維持管理不足
- 観光地としてのアピール不足
- アクセス道が狭い

【岩山公園を利用しやすくするために“どんなものがあれば良い”ですか？】

- あまり手をかけないこと、今の自然を大切に
- 季節を楽しめるようにしてほしい、植物の銘板の設置、ボランティアガイドなどの説明
- 盛岡圏内の観光案内所、サインの設置
- 休憩施設（レストラン、喫茶店を含む）、ベンチや四阿の設置
- 夜の利用を考え外灯が欲しい
- 歩道の整備

【岩山公園の整備の方針として“目指す方向性や求める機能や魅力”は何ですか？】

- 公園を現状の利用のまま「守る」こと、適切な維持管理、日中だけではなく夜景の魅力
- 展望台からの南側の眺望確保
- 誰もが歩けること、健康づくりとしての岩山の活用
- 季節を感じる樹木の増植、樹木の維持管理
- 観光アクセスの充実開発、行きやすくなるようバスの本数を増やす、交通の便の改善
- 食事や喫茶施設、施設は最小限度にする

【その他】

- 「また行きたい」と思われる散策路にしてほしい
- 動物公園やパークランドとの連携、歴史文化館や先人記念館などとの連携

3-3 岩山公園の課題

ワークショップ及びアンケートにより得られた、岩山公園のもつ資源やその評価と課題については、以下のようにまとめられる。

●山頂からの眺望および景観

“眺望が素晴らしさ”は岩山公園を代表する資源である。市街地や周辺の山並みを一望できる素晴らしい眺望の場所が市街地から近く、市民や観光客が容易に訪れることが可能である。なお、周辺の樹木が大きくなり過ぎたことにより「360°の眺望」を阻害している状況となっている。

●街中から見る岩山

街中から岩山を望むと、かつては展望台がUFOのように見え、シンボリックに岩山を望見できたが、近年は樹木等の成長により、展望台が見えにくくなっている。

●地形

公園の裾野は比較的緩傾斜地、中腹から山頂までは急傾斜、山頂付近は平坦地と、地形の変化に富んでおり、いろいろな利用の可能性を有しているが、急傾斜区域の散策路は歩きにくく、利用しにくい状態である。

●植生

近年存在が珍しくなった自然草地在市街地近郊にあり、かつ豊富な種類の自然植物や動物が多くみられる点は全国的に見ても数少なく、岩山公園のもつ重要な資源の一つとなっている。一方、自然草事は維持管理を適切に行わないと単なる「ヤブ」となり、景観的に単調で面白味がなくなる。また、サクラも近年弱ってきている。森林の区域は針葉樹が多く、ヤブ化により中に入り込めず、レクリエーションの利用が難しい状況である。自生する貴重な山野草については、学術的価値の評価も検討する必要がある。植物に関して、ガイドの配置や銘板の設置との意見もあるが、このことにより、貴重な山野草が盗掘される可能性がある。

●施設

展望施設（鹿島展望台、レストハウス展望台）が整備されており、利用者も多い状況となっている。ただし、柵や双眼鏡が老朽化・破損しており、利用できないものが多く、施設自体のデザインも単調であることから、魅力あるデザインとすることが望まれる。レストランなどの魅力をアップさせることも必要である。散策路のベンチやテーブルは破損しており、その更新に併せて新しいデザインとすることが望ましい。また、休憩施設、四阿やベンチ及びサインの増設が望まれているものである。啄木詩の道は修景的にメリハリをつけると、より魅力的になると考えられる。

●歴史

かつては草刈り場，その後はスキー場などの遊びの場として生活に密接に関係していたが，生活スタイルの変化などに伴い現在は造林地となっしまい，生活との関連性が薄くなっている。

●その他

各民間団体の活動エリアについては，それぞれが個々に活動し整合の取れていない状況も見られることから，調整することも必要である。また，岩山に至る道路に歩道がなく，車道が狭いこと及び路線バスの本数を増やすといった，街中からのアクセスについても改善が望まれる。

第4章 公園づくりの将来像

4-1 公園整備の考え方

岩山公園は市街地に近く、豊富な自然環境の中に設けられた公園として、40年以上に渡って市民に親しまれ、盛岡市の1つのシンボリックな存在となっている。その利用形態としては、

山頂からの眺望を楽しむ

自然環境を楽しむ

- ①自然草地の山野草の観察、野鳥観察
- ②花木園（NPO 法人桃源郷づくり岩手県民運動）、サクラ並木の花見
- ③健康登山
- ④芝生広場でのピクニック
- ⑤その他

と大別して2つのタイプに分けられる。近年は眺望の利用が圧倒的に多く、自然環境を楽しむ利用は少数となっている。その原因として、岩山公園の利用しやすい緩傾斜地のほとんどが、駐車場、遊園地、ゴルフ場などとして使われており、その他の区域の大半は急傾斜地で立入困難な森林となっており、活用できる範囲が少ないためである。

さらに、レストハウスの展望台から直下に見おろす草地区域は一部に芝生があるものの、人の背丈を超える多年草に広く覆われ、入り込むことも容易でなく、その中にわずかな散策路があるだけという状態である。

一方、展望台からの眺望も、東側は大きく伸びた森林に遮られてしまい、「以前の360°の眺望を取り戻してほしい」という要望が市民から寄せられている。

岩山公園は大きな施設が少なく、ほとんどの区域が自然の草地や森林に覆われているという癒しの空間となっている。市街地の近接地にこのようなレクリエーションスペースがあるのは恵まれた環境であることから、この条件を活用し、これまで利用者が少なかった原因を改め、より多くの市民や来訪者に楽しんでもらえるよう風致公園ということを踏まえた上で、次のような方針で岩山公園の再整備を行うものとする。

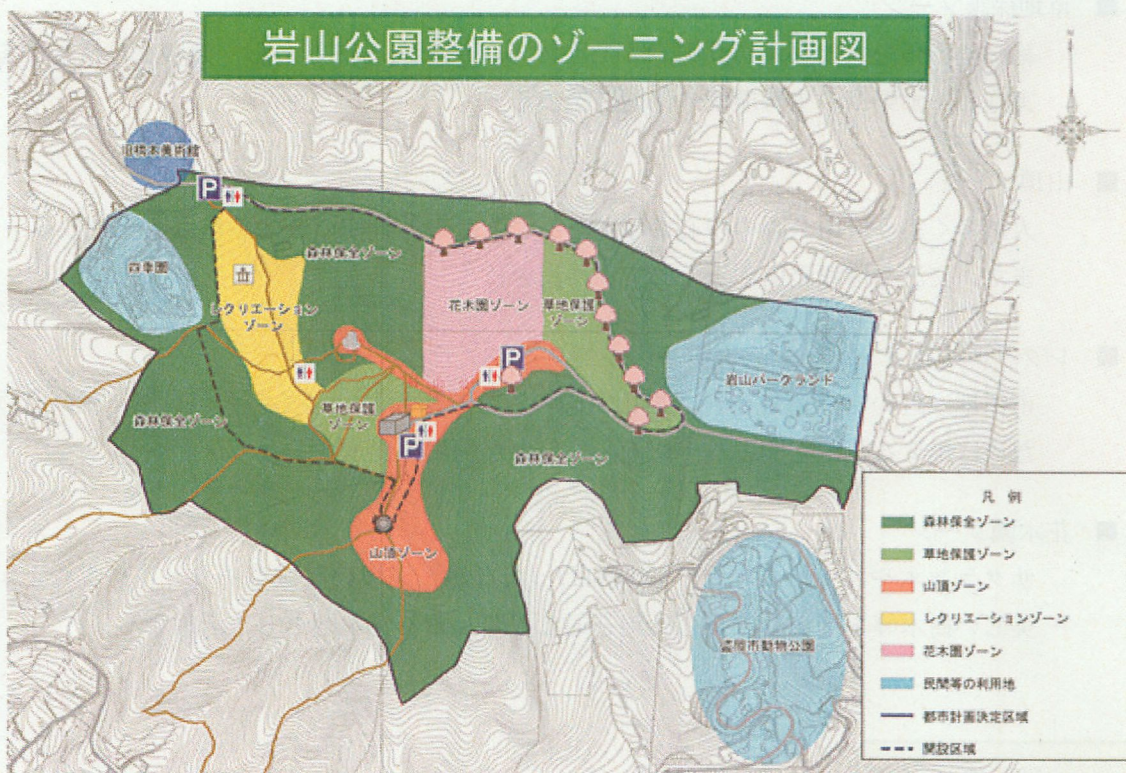
4-2 計画のコンセプト

岩山公園の現状の利用形態を活かしながら、下記のコンセプトに基づきながら岩山公園の利用促進に取り組んでいくものとする。

「盛岡のシンボル・岩山の魅力再発見」(案)

4-3 土地利用計画

岩山公園の土地利用計画の性格づけを明確にするため、岩山公園の現在の状態や利用形態を活かした5つのゾーンを設定し、各ゾーンの基本的な方針について計画する。



岩山公園のゾーニング計画

4-4 各ゾーンの基本的な方向性（ゾーニング）及び動線計画

公園整備の考え方と全体の土地利用計画を踏まえて、5種類のゾーニング及び動線を計画する。

ゾーニング

■ 森林保全ゾーン

森林が多い区域であり、野鳥の生息箇所ともなっている。また麓からの登山路もあるが森林に埋もれている状態である。したがって、野鳥の良好な生息環境の確保、良好な登山路環境の保持および良好な森林環境の確保を目的とし、森林の適正な保全に努める。

■ 草地保護ゾーン

絶滅危惧種を含む多くの山野草が自生する区域であることから、適切な維持管理を実施し、山野草の生育環境の保護に努める。

■ 山頂ゾーン

人が多く集う岩山公園の中心区域であることから、景観の確保の重点区域である。また、交流や情報発信の場としても活用を行う。

■ レクリエーションゾーン

市街地に近い自然草地という岩山公園の特色を活用し、多くの人が自然と触れ合うために集える草地空間として整備し、自由な利用を促進する。

■ 花木園ゾーン

サクラ並木やハナモモなど「手が加わった自然」が多い区域であり、花や実などが美しい樹木等を補植しながら一年を通して楽しめる花木園として活用する。

動線

■ 回遊性を持たせる

- ・公園区域内のゾーン間を結び、利用者の満足度を高め、「歩いて楽しむ公園」づくりを行う。

■ 散策ルートを選べる

- ・利用者の能力や体力、興味に合わせて散策路を選べるようにする。

4-5 想定される岩山の利活用

基本方針	行動パターン
眺望を楽しむ	山頂まで車で行き、眺望を楽しむ
風景を楽しむ散策	山頂まで車で行き、「岩山の岩」まで歩く
	山頂まで車で行き、「岩山の岩」まで歩き、平坦な散策路や石段を散策する
	山頂までバスで行き、岩山の岩、レクリエーションゾーンを経て旧橋本美術館前駐車場まで散策する（バスは駐車場で待機）
	レクリエーションゾーン一帯を往復して散策する
群落の花を楽しむ花見的楽しみ	芝生広場やキャンプ場一帯で遊んで帰る
	鹿島展望台の東側につくる広い芝生広場で遊ぶ
	桜並木の桜を楽しむ
	花木園ゾーンのハナモモを楽しむ
	ヤマユリの群落を楽しむ
	新たな花木園を楽しむ (以前に植えたツツジなどの回復も含む)
探索と知識を得る楽しみ	自然草地と花を楽しむ
	野鳥を見て楽しむ
	昆虫採集などを楽しむ
健康増進の楽しみ	健康登山・遊びとしての登山を楽しむ
教育の現場としての利用	自然の動植物に触れる
歴史・地理・植生を楽しみながら歩く楽しみ	ロングトレッキングの1部に岩山公園を取り込む
作業が人の為に役立つという楽しみ	草刈り・伐採などの作業を通じて、岩山の景観を守るボランティア（または、教育として）を楽しむ

第5章 公園づくり計画

5-1 基本的考え方

計画地は、自然豊かな風致公園であるため、その自然景観は出来るだけ維持することが望ましいと考える。しかし、眺望確保のための伐採や危険な箇所がある散策路の整備、必要最小限のサイン施設等の整備は必要である。したがって、ハード施策については、現在の景観やテーマに配慮しながら、希少な植物等を保全するための整備、来訪者の安全を確保するための整備を進めていくこととする。

一方、ソフト施策については、希少な動植物を大切に育てる心育てる啓発活動や、自然と親しめるイベントの開催、市民協働による維持管理など、周辺施設と連携しながら、岩山公園を有効に活用できる内容のものとしていくこととする。

5-2 ゾーンごとの個別計画

(1) 森林保全ゾーン

- 森林の樹木はできるだけ残し下木や下草を刈払って、見通しの良い森林をつくるなど、景観と雰囲気を変える。
- ヤブ状の草地は刈払いを行い、丈の低い草地とする。

(2) 草地保護ゾーン

- 希少種の植物学的価値を判定する。
- 適切な管理方法（草刈回数や時期）を設定する。
- ヤブ状の草地は刈払いを行い、丈の低い草地とする。
- 自然草地の範囲を確定させる。
- 多くの人々が利用できる散策路の整備を行う。
- 自然観察会などのイベントを検討する。

(3) 山頂ゾーン

- 鹿島展望台から360°の眺望回復のため、支障となる樹木は伐採や剪定する。
- 「岩山の岩」からの眺望を確保する。
- 姫神山のビューポイントの創設を行う。
- 鹿島展望台の東側に新たに芝生広場をつくる。
- 啄木詩の道より大木や形の良い樹木が浮き立って見えるよう、視界を遮っている他の樹木、低木、ヤブを取り除く。

(4) レクリエーションゾーン

- レクリエーション的利用空間の拡大・整備を行う。
- レクリエーション施設の一部であるテーブル・ベンチや散策路は地形を活用した斬新なデザインを創案する。
- 子供が楽しむことができる池をつくる。
- 芝生とキャンプ場のある谷の殆どを芝生状の草地（丈の低い草地）に変更する。ただし、一部を萱場（ススキ原）として残すことも検討する。
- 散策路沿いの景観改善を行う。

(5) 花木園ゾーン

- 関係者の活動を尊重しながら、そのデザインや管理手法の検討を行う。
- 利用しやすい散策路をつくる。
- デザインを改良する。(樹種と配置)

(6) 全域

- 公園の裾野は比較的緩傾斜地、中腹から山頂までは急傾斜、山頂付近は平坦地と、地形の変化に富んでいるので、それぞれに合った利用法を考える。
- 管理計画を策定し、それに基づいた適切な管理運営を行う。
- 既存の登山路は埋もれてしまい広い眺望が遮られているので、
 - ◎ 登山路の両側を一定幅で伐採し、光を取り入れる。
 - ◎ ビューポイントの確保および採光スポットとするため、登山路沿いの一部を円形・方形などに伐採する。
 - ◎ 尾根沿いの登山路では、狭くても遠方まで見通せる伐開地をつくる。
- 花や実、姿の美しい樹木を補植する。
- 枯木は伐採する
- 桜並木やツツジ群落など、埋もれているものを復活させる。
- 新たなデザインの建物（四阿、デッキ、トイレ、ベンチなど）を配置する。
- 既存の散策路で、勾配が急な箇所や滑りそうな箇所は、ルート変更や舗装を検討する。
- 新しい散策路の設置を検討する。
- 散策路からの景観を確保する。
- 体力に応じた複数の散策路（距離や勾配など）を整備する。
- 各目的（案内、誘導、記名、注意・禁止）に応じたサインを配置する。
- 公園管理用の道具置場の設置を検討する。
- 大型バスが駐車できるよう既存駐車場を拡張する。

(7) その他

- 街中から鹿島展望台が見えるよう、支障となる樹木を伐採や剪定する。
- アクセス道路の狭い箇所及び急カーブを改善する。
- アクセス道路に歩道を整備する。
- アクセス道路を明るくするため、沿道の樹木を間伐する。
- 旧橋本美術館を活用し、情報発信と交流のための施設整備を検討する。
- 周辺の歴史的遺跡や風景の美しいところと登山路を結んだトレッキングロードの設置及びそのための駐車場設置を検討する。
- 岩山公園と他施設を接続する散策路を検討する。
- 岩山周辺地域の連携や歴史に配慮する。
- 利用者が岩山で「学ぶ・歩く・食べる」楽しみを享受できるよう検討する。

5-3 今後のスケジュール

計画地におけるスケジュールは以下のとおりである。

工程	内容
H23	現況・課題等の整理，商工観光部との調整
H24	基本計画策定（ワークショップ等により市民意見反映）
H25	個別整備スケジュール・実施設計
H26～	計画に基づく整備及び適正な維持管理の実施

第6章 管理運営計画

6-1 基本的考え方

管理運営計画に係わる基本的考え方は以下のとおりである。

公園が緑のまちづくりの拠点として、また地域のコミュニティ形成の核として機能し、あるいは活性化をしていくためには、市民が恒常的で主体的に公園の管理・運営に参加し、利活用することが大切である。そのためには、市民が積極的に管理（保全）・運営に参加し、たくなるような仕組みづくりが必要である。

近年は、市民と行政のパートナーシップ型社会構築の動きが活発であり、こうした動きは公園の維持管理を含めた管理・運営面においても、その兆しを伺うことができる。

以上のことから、公園区域における管理（保全）・運営については、盛岡市が、学識経験者・有識者を交えた市民、地元関係者やその他関係団体等とが連携をとりながら、市民参加型の管理（保全）・運営を目指すことが望ましいと考えられる。

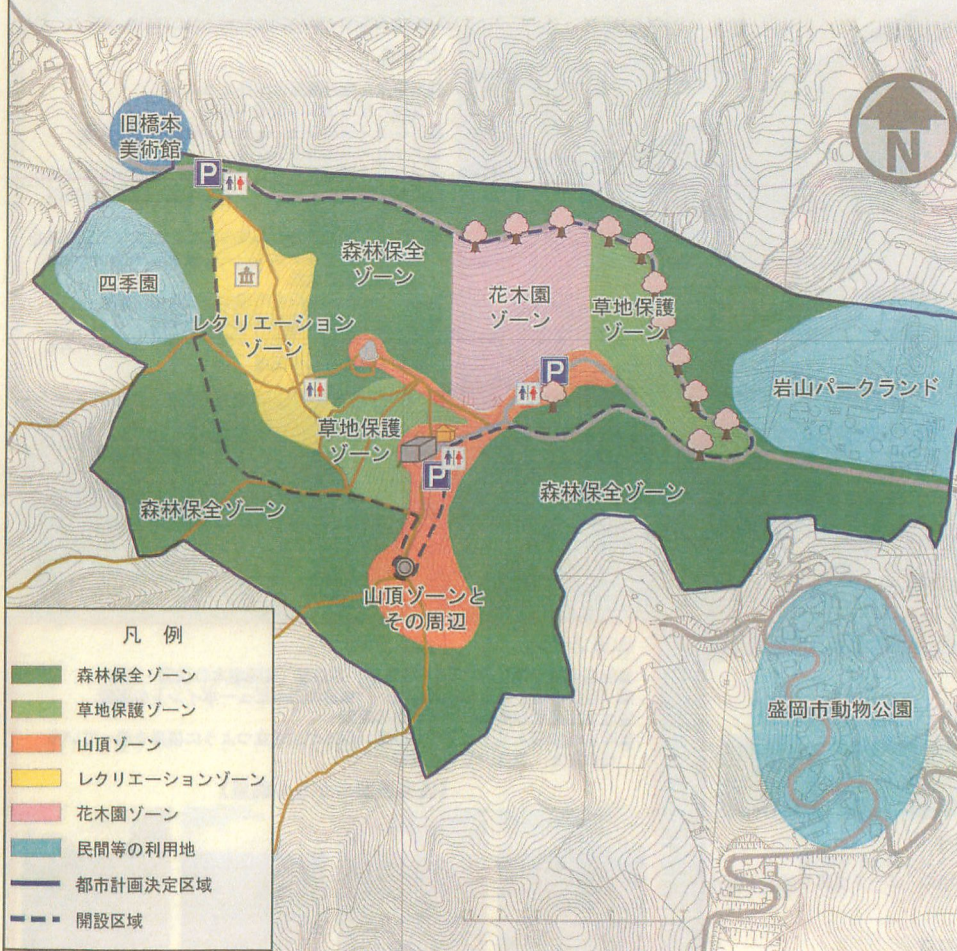
この場合、意識の深さは個人や各種団体で様々であることから、事業の進捗に併せ、互いの役割分担を確認していく必要がある。

また、将来的には市民等の多岐に渡る要望への対応を速やかに処理することが望ましいことから、岩山公園の指定管理者制度への移行も検討する必要がある。

岩山公園整備基本計画の概要

【整備の目的】

岩山公園は多くの市民等に親しまれてきたが、近年は維持管理や施設の老朽化に伴う市民からの要望等が寄せられるなど多くの課題を抱えていることから、「岩山公園整備基本計画」を策定し、岩山公園の更なる魅力アップと観光リクリエーション施設としての利活用を図る。



計画対象範囲とゾーニング

0 50 100 200 300m

コンセプト	盛岡のシンボル・岩山の魅力再発見(案)
森林保全ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 下木や下草を刈払い、見通しの良い森林をつくるなど、景観と雰囲気向上 ■ ヤブ状の草地は刈払い丈の低い草地として整備
草地保護ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 希少種の植物学的価値の判定 ■ 適切な管理方法(草刈回数や時期)の設定 ■ ヤブ状の草地は刈払い、丈の低い草地として整備 ■ 自然草地の範囲の確定 ■ 多くの人々が利用できるための散策路の整備 ■ 自然観察会などのイベントの検討
山頂ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 鹿島展望台からの「360°の眺望」の回復(支障樹木の伐採・剪定) ■ 「岩山の岩」からの眺望確保 ■ 姫神山のビューポイントの創設 ■ 鹿島展望台の東側に芝生広場の新設 ■ 啄木詩の道より、大木や形の良い樹木が浮き立つように視界を遮っている他の樹木、低木、ヤブを伐採
レクリエーションゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ■ レクリエーション的利用空間の拡大・整備 ■ レクリエーション施設の一部であるテラス・ベンチや散策路について地形を活用した斬新なデザインの創案 ■ 子どもが楽しむことができる池(水面)の設置 ■ 芝生とキャンプ場のある谷の殆どを芝生状の草地(丈の低い草地)に変更ただし、一部を萱場(スキ原)として残すことも検討 ■ 散策路沿いの景観改善
花木園ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関係者の活動を尊重しながら、そのデザインや管理手法の検討 ■ 利用しやすい散策路の設置 ■ 花木園内のデザイン(樹種と配置)の改良
全域で取り組む整備内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公園の変化に富んだ地形をそれぞれに合った利用法の検討 ■ 管理計画を策定および適切な管理運営 ■ 既存の登山路は埋もれてしまい広い眺望が遮られているため、採光およびビューポイント確保のため樹木の伐開 ■ 花や実、姿の美しい樹木の補植 ■ 枯木の伐採 ■ 桜並木やツツジ群落など、埋もれているものの復活 ■ 新たなデザインの建物(四阿、デッキ、トイレ、ベンチなど)の配置 ■ 既存の散策路で、勾配が急な箇所や滑りそうな箇所の、ルート変更や舗装の検討 ■ 新しい散策路の設置の検討 ■ 散策路からの景観の確保 ■ 体力に応じた複数の散策路(距離や勾配など)の整備 ■ 各目的(案内、誘導、記名、注意・禁止)に応じたサインの配置 ■ 公園管理用の道具置場の設置・検討
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ 街中から鹿島展望台が見えるよう、支障となる樹木の伐採や剪定 ■ アクセス道路の狭い箇所及び急カーブの改善 ■ アクセス道路の歩道整備 ■ アクセス道路を明るくするための沿道の樹木の間伐 ■ 旧橋本美術館を活用し、情報発信と交流のための施設整備の検討 ■ 周辺の歴史的遺跡や風景の美しいところと登山路を結んだトレッキングロードの設置及びそのための駐車場設置の検討 ■ 岩山公園と他施設を接続する散策路の検討 ■ 岩山周辺地域の連携や歴史への配慮 ■ 利用者が岩山で「学ぶ・歩く・食べる」楽しみを享受できるための配慮

岩山公園整備基本計画図

盛岡のシンボル・岩山の魅力再発見（案）



草地保護ゾーン

- 希少種の植物学的価値の判定
- 適切な管理方法（草刈回数や時期）の設定
- ヤブ状の草地は刈払い、丈の低い草地として整備
- 自然草地の範囲の確定
- 多くの人が利用できるための散策路の整備
- 自然観察会などのイベントの検討



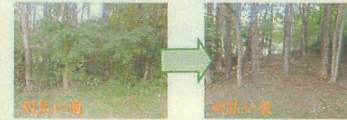
花木園ゾーン

- 関係者の活動を尊重しながら、そのデザインや管理手法の検討
- 利用しやすい散策路の設置
- 花木園内のデザイン（樹種と配置）の改良

森林保全ゾーン

- 森林の樹木はできるだけ残し下木や下草を刈払って、見通しの良い森林をつくる
- ヤブ状の草地は刈払いを行い、丈の低い草地とする。

【下草の刈払い】



【ヤブの解消】



その他

- 街中から鹿島展望台が見えるよう、支障となる樹木の伐採や剪定
- アクセス道路の狭い箇所及び急カーブの改善
- アクセス道路の歩道整備
- アクセス道路を明るくするための沿道の樹木の間伐
- 旧橋本美術館を活用し、情報発信と交流のための施設整備の検討
- 周辺の歴史的遺跡や風景の美しいところと登山路を結んだトレッキングロードの設置及びそのための駐車場設置の検討
- 岩山公園と他施設を接続する散策路の検討
- 岩山周辺地域の連携や歴史への配慮
- 利用者が岩山で「学ぶ・歩く・食べる」を楽しむことができるための配慮



レクリエーションゾーン

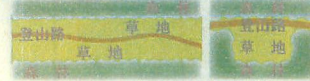
- レクリエーション的利用空間の拡大・整備
- レクリエーション施設の一部であるテーブル・ベンチや散策路について地形を活用した斬新なデザインの創案
- 子供が楽しむことができる池（水面）の設置
- 芝生とキャンプ場のある谷の殆どを芝生状の草地（丈の低い草地）に変更ただし、一部を草場（ススキ原）として残すことも検討
- 散策路路沿いの景観改善

【利用空間拡大のイメージ】



公園全域

- 既存の登山路は埋もれてしまい広い眺望が遮られているため、採光およびビューポイント確保のため樹木の伐開



- 花や実、姿の美しい樹木の補植
- 枯木の伐採
- 桜並木やツツジ群落など、埋もれているものの復活
- 新たなデザインの建物（四阿、デッキ、トイレ、ベンチなど）の配置
- 既存の散策路で、勾配が急な箇所や滑りそうな箇所の、ルート変更や舗装の検討
- 新しい散策路の設置の検討
- 散策路からの景観の確保
- 体力に応じた複数の散策路（距離や勾配など）の整備
- 各目的（案内、誘導、記名、注意・禁止）に応じたサインの配置
- 公園管理用の道具置場の設置・検討

山頂ゾーン

- 鹿島展望台からの「360°の眺望」の回復（支障樹木の伐採・剪定）
- 「岩山の岩」からの眺望確保
- 姫神山のビューポイントの創設
- 鹿島展望台の東側に芝生広場の新設
- 啄木詩の道より、大木や形の良い樹木が浮き立つように視界を遮っている他の樹木、低木、ヤブを伐採

【鹿島展望台からの眺望】

